

# 議会だより

● 発行所 ●

一宮町議会

〒299-4396 千葉県長生郡一宮町一宮2457  
TEL 0475 (42) 2111 (代)  
TEL 0475 (42) 1421 (直)  
FAX 0475 (42) 2465

発行 一宮町議会  
編集 議会報編集委員会



秋空のもと元気いっぱい（原保育所）

## 東浪見小大規模 改修工事を契約

平成 20 年 11 月  
第 129 号

- 9 月定例会で決まったこと…………… (2)～(4)
- 契約・発議・請願…………… (5)
- 一般質問 4 名の議員より …………… (6)～(9)
- 行政視察研修報告…………… (10)～(11)
- ふるさと散歩・編集後記…………… (12)



第30回農林商工祭（保健センター前）

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員	委員
長	員	員	員	員	員	員	長	長
小	吉	焯	焯	焯	焯	焯	吉	小
関	野	場	場	場	場	場	野	関
国	繁	博	博	博	博	博	繁	国
徳	徳	敏	敏	敏	敏	敏	徳	徳
男	男	敏	敏	敏	敏	敏	男	男
石	緑	高	室	鶴	業	焯	吉	小
野	川	梨	川	岡	重	場	野	関
以	弘	邦	常	重	重	場	野	関
和	行	俊	夫	巖	悦	敏	野	関
夫	行	俊	夫	巖	悦	敏	野	関

決算審査特別委員会を  
設置

平成20年第3回一宮町定例議会は、9月17日に開催され、町長の行政報告をはじめ、請願2件、発議3件、一般質問は4名の議員がおこないました。

また、町側より平成19年度一般会計他6特別会計の決算認定のほか、報告3件、議案として、条例の制定・一部改正6件、一般会計他補正7件、契約1件が提出され、すべて原案どおり可決されました。

平成19年度決算認定は、決算審査特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に付託されました。

一宮町健全化判断比率

項目	一宮町比率	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	20.00	40.00
実質公債費比率	12.7	25.0	35.0
将来負担比率	121.7	350.0	—

資金不足比率

会計名	一宮町比率	経営健全化基準 (イエローカード)
一宮荘特別会計	—	20.0
農業集落排水事業特別会計	—	20.0

比率に数値が入っていないのは黒字のためです。

健全化判断比率  
・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成19年度の一宮町健全化判断比率と一宮荘特別会計及び農業集落排水事業特別会計の資金不足比率の報告があり、各指標とも基準の範囲内ではあるが、財政運営は大変厳しいとの説明がありました。

なお、各指標については、次のとおりです。

報告

## 町長等の給料の特例に関する

### 条例の制定

#### 町長の給料を20%減額

この条例は、新しいまちづくりプランの実現に向けた施策事業を実施するため、町長の公約である町長、副町長及び教育長の給料を特例として一定期間、減額をおこなうものです。

ただし、減額の特例については、給料のみとし、期末手当、退職手当については特例条例制定前の給料月額を算定の基準額とします。

#### ○減額内容

	減額率	制定前 給料額	制定後 給料額	[6ヶ月分] 減額合計額 1,310,400円
町長	給料月額 の100分の20	788,000円	630,400円	945,600円
副町長	給料月額 の100分の5	639,000円	607,050円	191,700円
教育長	給料月額 の100分の5	577,000円	548,150円	173,100円

○減額期間：平成20年10月1日から平成21年3月31日まで

○施行日：平成20年10月1日

## 一宮町ふるさと応援基金条例

### の制定

まちづくり応援寄附で税金が控除されます！

この条例は、一宮町のまちづくりを応援していただける皆さんの寄附金を財源に「躍動する緑と海と太陽のまち」を推進する基金を設置するために制定しました。

平成20年中に寄附金をした場合は、平成20年の所得税確定申告により所得控除がなされ、個人住民税は平成21年度分が税額控除されます。

これを受けて一宮町では、「一宮町ふるさと応援基金」を設置し、寄附金を積み立てて、「教育」、「環境」、「産業」、「福祉」の各分野の事業の中から町長が選定した事業の財源にします。

また、一宮町以外の市区町村にお住まいの方が1万円以上の寄附をされた場合は、返礼としてメロン、トマト、梨、地元産米などを贈ります。

## 地方自治法の一部を改正する 法律の施行に伴う関連条例の 整理に関する条例の制定

地方自治法の一部を改正する法律（平成20年6月18日法律第69号公布平成20年9月1日施行）が施行されたことに伴い所要の規定の整理をおこなうものです。

#### ○関連条例

- ①一宮町議会議務調査費の交付に関する条例
- ②議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例
- ③一宮町特別職報酬審議会設置条例

#### ○改正内容

条項の改正と「報酬」が「議員報酬」に名称改正されたことによるものです。

## 一宮町認可地縁団体印鑑の

### 登録及び証明に関する条例の

#### 一部改正

主な改正内容は、公益法人制度改革三法が平成20年12月1日に施行されることに伴い、地方自治法の改正があり、地縁団体に係る規定が改正されました。今回の改正で準用規定が削られ、地方自治法で具体的に定められたことにより条例の改正をおこなうものです。

認可地縁団体とは、不動産等の資産を保有している自治会や町内会等（地縁による団体）で、市町村の認可により法人格を得た地縁団体です。

## 一宮町税条例の一部改正

4月30日公布された地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い個人住民税の寄附金税制が大幅に拡充されました。

1. 「ふるさと」に貢献したい、応援したいという納税者の思いを活かすことができるよう、都道府県及び市区町村に対する寄附金税制が拡充されました。

2. 地方公共団体が条例により指定した寄附金を寄附金控除の対象とする制度が創設されました。

いずれの制度も平成21年度課税分から対象となりますが、住民税は前年の所得状況をもとに課税するため、前年中（平成20年1月1日から12月31日）に支払った寄附金から控除の対象となります。

詳細につきましては、「広報いちみや」により周知されています。

# 条例改正・補正

## 一宮町墓地等の経営の許可等に関する条例の

### 一部改正

公益法人制度改革三法が平成20年12月1日に施行されることに伴い、従来の社団又は財団は、民法による設立根拠を失うこととなります。現に存するものは一般社団法人又は一般財団法人として存続されるため、条例の一部を改正するものです。

## 一般会計補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千41万8千円を追加し、36億7千8百41万8千円となりました。

主な内容は、町長他特別職の給与削減、職員の人事異動に伴う給与調整のほか、町ホームページの刷新経費1百万円、税の電算処理経費等3百18万3千円、東浪見児童保育クラブ整備設計監理費94万5千円、農地・水・環境保全対策事業3百46万2千円、米粉製粉機導入事業補助金30万円、棚溝蓋盗難に伴う原材料費1百50万円、東浪見小学校下の信号機設置に伴う交差点改良工事3百60万円などを追加しました。

財源の主なものは、普通交付税の確定により8千3百54万9千円を追加し、歳出に充てた残額は、財政調整基金の取崩を7千7百76万5千円減額しました。

## 一宮町国民健康保険事業特別会計

### 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千15万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ13億6千4百67万8千円とするものです。

内容については、人事異動に伴う人件費の増額、保険給付費においては、退職被保険者等の療養費及び高額療養費の増額、特定健康診査等事業費の増額、平成19年度分医療費の精算として支払基金に返還するものです。

## 一宮町介護保険特別会計

### 補正予算（第1次）

歳入歳出の総額に4百48万2千円を追加し、歳入歳出の総額それぞれ7億6千7百99万1千円とするものです。

内容については、人事異動に伴う人件費の減額及び平成19年度の保険給付費・地域支援事業費の精算により国・県・支払基金・町に返還するものです。

## 一宮町後期高齢者医療特別会計

### 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2百7万9千円を追加し、歳入歳出それぞれ1億3千7百1万8千円とするものです。

内容については、人事異動に伴う人件費の増額です。

## 老人福祉センター特別会計

### 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に56万8千円を追加し、歳入歳出それぞれ2千1百91万5千円とするものです。

内容については4月1日の人事異動によるものです。



健康は体を動かすことから

## 一宮荘特別会計

### 補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に1億81万1千円を減額し、歳入歳出それぞれ歳入歳出9千4百41万円とするものです。内容については4月1日の人事異動によるものです。

## 一宮町農業集落排水事業

### 特別会計補正予算（第1次）

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ1億2百89万4千円とするものです。内容については、人事異動に伴う人件費の増額です。

## 発議

### 一宮町議会会議規則の一部を改正する規則の制定

地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、地方自治法第100条第12項に「議会は、会議規則の定めるところにより、議案の審査または議会の運営に関し協議または調整をおこなうための場を設けることができる。」規定が新たに設けられました。

このことにより、議会活動としての全員協議会を会議規則に規定するものです。

## 契約

工事名 一宮町立東浪見小学校校舎及び体育館大規模改修工事

契約金額 2億1千9百45万円

請負業者 千葉市中央区新町17番16号

村木建設株式会社

支店長 濱坂寿久



改修工事が進む東浪見小

## 請願の審査結果

件名	請願者	提出者	結果
燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願	八街市八街は18 農民運動千葉県連合会 代表者 大木 博一郎	畑場 博敏	採択
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願	八街市八街は18 農民運動千葉県連合会 代表者 大木 博一郎	畑場 博敏	採択

## 議員発議（意見書）の審査結果

件名	提出者・賛成者	結果
燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書	・提出者 一宮町議会議員 畑場 博敏 ・賛成者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 小関 国男 ・賛成者 一宮町議会議員 緑川 弘行	可決
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書	・提出者 一宮町議会議員 畑場 博敏 ・賛成者 一宮町議会議員 室川 常夫 ・賛成者 一宮町議会議員 萩原 一美 ・賛成者 一宮町議会議員 森 佐衛 ・賛成者 一宮町議会議員 小関 国男 ・賛成者 一宮町議会議員 緑川 弘行	可決

## 臨時保育士の 労働条件改善を



鶴岡 巖議員

今年度予算審議の中でも保育士に占める臨時保育士の割合が、22名中半数近くとなることから、厚生常任

委員会より是正を求めた要望が出されている。

また、臨時保育士は、正保育士と同じ時間・同じ内容で働いている。しかし賃金は、1日6500円、月額約13万円であり、年間150万円、160万円である。何年、臨時保育士を続けても同じである。

### 子どもは宝

町は、臨時保育士採用の主な理由に、入所希望児童の低年齢化と定員増に対応するためとしている。

しかし、全国公立保育所の「実態調査報告書」によれば、非正規保育士を採用している第1の理由は、人件費を削減ができることとしている。臨時保育士を人件費削減の手段にしていることはないか何う。

### 来年度から 待遇改善を 実施

玉川町長 自治体のパート職員や臨時職員の待遇について、国の人事院が今年6月に、非常勤職員の給与や通勤手当、経費給あるいはボーナスの支給等に努めるようガイドラインを出している。町は、このガイドラインに基づき早急に検討し、来年度から臨時職員の待遇改善を実施する。

また、臨時保育士を含めた定員管理や機構改革は、人件費削減のためという大きな目標はあるが、行政サービスを維持し、向上することを前提に人件費を削減することであり、行政サービスを低下させるような人件費の削減は考えていない。

### 急げ放置 自転車 対策

駅前の放置自転車は、町の粘り強い対応にもかかわらず台近くの自転車等の放置が続いている。住民からは、「危険だ、何とかしてほしい」との声が強い。その後の取り組みの経過と対応を何う。

また、この問題は「自転車法」を活用して放置自転車の整理・撤去ができる条例を制定し、撤去した自転車の保管・返還・売却・リサイクルを含めた処分ができる一連の対応をすべきだと指摘したが、再度見解を何う。

「自転車法」では、放置自転車対策のための協議会を町長が指定する方法で組織できることになっている。これを活用し、行政・JR・警察・住民・民間駐輪場経営者・教育機関等で対策協議会を組織し、自転車の利用マナーやルール等の啓発を考え、地域の放置自転車の対策を協議する場をつくる必要がある。考えを何う。



スタートする対策協議

### 年内に懇談会を 開き解決

玉川町長 対策協議会の設置は、法律上の正式な自転車等駐車対策協議会ではなく、任意の協議会として年内に懇談会を開き、早急に問題の解決を図っていきたい。

した放置自転車一掃の「一時預り対策」が可能かどうか、関係機関に打診しているのでその中で検討したい。

小関建設課長 現状は、JRを利用する通勤・通学者のマナーの悪さが放置自転車に至る要因の一つだと認識している。数年前に実施

条例制定には、公共の駐輪場の設置が課題となるが、町の現状の中では、民間駐輪場との兼ね合いもあり、難しい問題と考えている。

# 開かれた町づくりを



畑場博敏議員

取り組みを伺う。  
また、まちづくりの手法として、徹底した情報公開と住民参画をうたっているが、これまで取り組んできた内容を住民の反応も含めて伺う。

## 対話で 一歩ずつ

一般会計の歳入総額は、平成19年度までの7年間で約4億4千万円落ち込んでいる。どこが減ったかを見ると地方交付税が約4億円と大きい。この交付金の増額要求と制度維持は、財源確保にとって重要である。

玉川町長 交付税の減少は町にとって大変厳しい。こ



町長懇談会

れまでも人件費削減や事務事業の見直しの改善で対応してきたが、さらに財政調整基金の取り崩しで賄っている。国への地方交付税増額、制度堅持の要望

は、町村会でおこなって来たが、あらゆる機会をとらえておこなっていく。  
まちづくりの施策として、町長懇談会を2回実施したが良かった。また、住民提案を受けた協議会で計画をつくり実施までの支援を考えている。

## 高すぎる国保税に悲鳴

国保税が31%と大幅にアップされて、町民の悲鳴があがっている。広報でのお知らせは2回あったが、21年度以降もさらに税率を上げざるをえない状況である。今回の値上げにより、世帯当たりの国保税は、郡市内で白子町に続いて2番目の高さである。

連続する国保税の大幅引き上げでは、滞納は増え国保会計の健全運営も保障できない。今後は、国保税引き下げのための住民説明会開催や、国庫補助増額を求め町民運動を展開すべきだと思うがどうか。

## 積極的に 説明したい

玉川町長 国保税は大幅な値上げで、広報が届く前に納税通知書が届き説明不足になり申し訳けないと思っている。

国庫補助増額を求める要望書は郡町村会から県町村会へ提出することとなっている。

住民説明会開催時期は、今後の医療費の伸び等を見ただ中で、税率等を試算し、数字がある程度見えた中で考えたい。

当面は町長懇談会などを活用して、積極的に情報を公開し説明していきたい。

## 市民農園 開設への 手順は

遊休農地対策は農業活性化にとって避けて通れない重要課題である。町長は対策の一環として市民農園の開設を提案しているが、手順など検討過程を伺いたい。

また、農業の振興計画づくりに欠かせないのは、農



収穫が楽しみな市民農園

## 先進例を参 考に検討中

業者の生の声を常につかみ、解決策を示すことである。現在の振興計画も実態調査に基づき修正し、充実に図ってもらいたい。

方法を検討していきたい。隣のいすみ市では既に市民農園等を開設しているの参考にした。農業実態調査は、農業委員会が8月1日を基準日とした調査を実施している。その調査に要望等把握できる項目を加え、来年度から振興計画の参考にした。

こんな質問もありました。  
○火災報知器義務化に伴う購入補助制度は。

玉川町長 市民農園開設は遊休農地解消の一つの手段となる。開設には、貸したい人の募集と条件や希望を把握した中で町に合った

災害予測図作成は



志田延子議員

ハザードマップ（災害予測図）作成のため専門家

交えた研究会を全町において開催し、早期の作成と防災訓練の実施をお願いする。自主防災組織は、消防団員の減少している状況がある中で組織する必要があると思うが、考えを伺う。

現在作成中

慎重に検討

芝崎総務課長 平成13年の防災マップに、洪水と津波のハザードマップを合わせたものを作成中である。新しい防災マップを全世帯に配布し、情報提供をおこなう。津波及び洪水を想定した避難場所、経路等、町民に周知すると共に確認のための避難訓練を年内に実施したい。

芝崎総務課長 活用されていない町有地については、払い下げの要望があった場合は、慎重に調査・検討した上、払い下げている。京王帝都の土地は、測量費などがかさみ売却しても赤字になってしまう。また山林などは、第三者に渡り産業廃棄物の不法投棄等も予測され売却は不可能である。

駅前駐車場については、今のところ検討していない。



知恵を出し合い真剣に

町有地の有効利用を

「有効利用されていない町有地があるのではないか。」という町民の声がある。例えば、京王帝都から寄附された土地、あるいは駅前直元所の駐車場等について町は、どのように考えているのか伺う。

職員の活用評価は

町政の発展のためには、人材の適材適所は重要である。どのように考えているか伺う。

やる気の喚起が第一

玉川町長 限られた人員の中で効率よく業務を遂行するためには、何よりも職員の意欲を高め、やる気を喚



窓口対応は親切に

起することが第一条件である。勤務評価については、一宮町職員勤務評定実施要領にのっとり毎年一般職員全員を対象に実施している。

さらに、所属長からの聞きとりも実施した上、職員の配置替え、昇任等の職員評価の基礎としている。



# どうする庁舎建設



石野以和夫議員

庁舎も41年を経過し、雨漏り、ひび割れが外見上目につくようになった。耐震診断をしながら何も思わないのは、いかがなものかと思う。庁舎が倒壊し、人命が

失われてからでは手遅れである。

そこで、2点伺う。

①診断結果の公表はどのようにしたのか確認したい。

②人命尊重を考えたとき、災害本部機能の確保は防災上最優先であり、住民の安全、安心を第一と考えるが、町長の考えを伺う。

## 建設検討委員会を設置

### 動き出した庁舎建設

玉川町長 庁舎の耐震診断は、平成8年に実施しており公表した。結果は、壁の浮き、亀裂、鉄筋の爆裂などが見られ、東西方向で一階の耐震性に問題があると指摘された。

現在、若い職員6人で庁舎建設検討委員会を設置し検討を始めた。

検討結果は、12月までに第1次提案を受けることになっている。



7月	8月	9月
1日 綱田浅間神社夏祭り	2日 一宮納涼花火大会	7日 一宮中学校体育祭
2日 一宮町青少年問題協議会会議	5日 総務文教常任委員会	9日 議会運営委員会
2日 一宮町社会を明るくする運動実施委員会会議	7日 公立長生病院運営委員会	9日 議員全員協議会
4日 一宮川地区洪水防除施設管理運営委員会	17日 長南町納涼花火大会	9日 議会報編集委員会
6日 長生文部消防操法大会	19日 例月出納検査	12日 上総国一宮まつり
14日 議会運営委員会・議員全員協議会	21日 長生郡議会議員及び事務局職員合同研修会	13日 上総国十二社祭
14日 第1回議会臨時会	25日 九十九里地域水道企業団例月出納検査	15日 一宮町敬老大会
15日 長生郡市広域市町村圏組合議会行政研修視察	26日 長生郡市広域市町村圏組合議会運営委員会・定例会	17日 定例議会
16日 議会報編集委員会	27日 監査委員による決算審査(27~29日)	19日 例月出納検査
17日 例月出納検査	28日 九十九里地域水道企業団理事会	21日 一宮小学校体育祭
18日 海水浴場開設式及び安全祈願式		24日 五前神社参集殿竣工清祓祭
23日 九十九里地域水道企業団例月出納検査		25日 九十九里地域水道企業団例月出納検査
23日 長生郡町村議会議長会臨時会		27日 「しおさいの森 花の小径」完成贈呈式
29日 公立長生病院桐谷委員長との意見交換会		

議会の主な動き (H20・7月~9月)

(議長・議員が出席した主な行事)



鳥海温泉「遊楽里」



道の駅鳥海「ふらっと」

## 道の駅鳥海「ふらっと」

### 「議会の活性化のとりくみ」

### 「学力向上サポート事業」等を視察

議会は、町長と共に、平成20年10月5日・7日にかけて、視察研修をおこないました。視察先は、山形県遊佐町鳥海温泉「遊楽里」、道の駅鳥海「ふらっと」の運営状況について、山形県庄内町では、議会の活性化の取組みについて、福島県川内村では、子どもたちの学力サポート事業について、3町村を訪問しました。

遊佐町は、東北の名峰鳥海山のふもとに位置し、海にも近く防風林の黒松の美しい豊かな自然に恵まれた町です。

道の駅「ふらっと」は、酒田から国道7号線を秋田方面へ車で30分と、立地条件の良い所です。農産物直売所は「ひまわり会」68人と漁協女性部吹浦支部「元気な浜店」が隣合わせにあり、魚をその場で焼く販売や、食堂・ファーストフードコーナー等もあり、その

日は日曜日とも重なり、大変賑わっていました。

施設の運営は、遊佐総合交流促進施設株式会社を平成8年に設立し、平成16年度からは、指定管理者制度に移行し、株式会社を引き続き運営をおこなっています。

資本金2千万円は、遊佐町50%、庄内みどり農業協同組合40%、その他3団体3社で10%となっています。

青果物直売所（ひまわり会）の運営費は、年会費5千円と売上高の2%、販売手数料は10%です。

小野寺町長は、運営に当たり、「販売スペースでテナント料を決めるのではなく販売手数料の方がより良い事業ができるのでは、駐車場の一角にコンビニを入れてみてはどうか」「トイレには灰皿を置かず利用者との模比べて2・3年努

力すると、だんだんマナーも良くなっていく」といった貴重な話をされました。

そして、この事業の成果は、所得の向上、企業活動の活性化、地域食文化の発信等、地域に大きく貢献している。今後の課題は、会員一人一人の経営意識の高揚ですと強調されました。

宿泊した鳥海温泉「遊楽里」は、道の駅の近くにあります。旧自治省のリーディングプロジェクト事業を活用して、「鳥海ふれあいの里事業」として、平成5年から5ヶ年計画で事業費総額4億8千万余りで建設されました。

設備は、収容人員120名、大宴会場、多目的ホールを備えた宿泊施設です。そして、このホテルも道の駅と同様に町が、株式会社運営を委託しており、独立採算で行政からの赤字支援等は一切おこなっていない

とのことでした。



熱心に話された遊佐町 町長

このような小野寺町長の話を伺い、人脈・アイデア・行動力の素晴らしさ。こうした、町長の強いリーダーシップで、地域の人々と行動しなければ町の活性化は難しいと思いました。

庄内町は、山形県の北西部にあり、庄内平野の南部から中央に位置しています。人口は、2万4千人余りで農業を基幹産業としている町です。

庄内町議会は、平成19年に「議会の活性化」・「住民に開かれた議会」への取り組みで、全国町村議連会より特別表彰を受けました。

また、議会だけでなく山形県町村議連会より表彰を受ける等、進んだ取り組みをしている議会でもありません。

議員数は、19名ですが、その議会運営状況と一般質問の状況をみて驚きました。



議会活性化の意見交流

た。質問、質疑は「議員の義務」とし、議会活性化は、第一に、「議員の質の向上」と考えている。質疑をおこなうことは、議員自らの知識と理解を深め、双方の意識の向上が町全体の活性化につながるかと話されました。議事日程や一般質問通告書の住民への事前公開等、庄内町議会のエネルギーを感じ、言葉では言い

つくせない頭の下がる思いがしました。そして、研修の場での質問のやりとりの、受け答えの自信に満ちた態度は、さすが、特別表彰をうける庄内町議会だと感心しました。

議会広報もコンクールで、数多くの入選や優秀賞をとられ、このような議会運営をしていけば住民・行政との良い関係を築くことができるのだと思います。

一言町議会も、いつの日か、このように他の市町村から視察に来られるような町になればと強く思いました。

川内村は、福島県の浜通り地方、阿武隈高地の中部に位置し、総面積197・37平方キロメートル、人口3千2百人の少子高齢化が進む過疎の山村です。村長室には、「村は人なり」という、詩人の草野



円形式の庄内町議場

心平さんの書を代々掲げている村でもあります。

そして、公共交通は不便であり、商業施設や病院、県立高校のある海岸地域に行くためには、車や1日4往復のバス利用で50分を要する村です。このような状況の中では、定住人口の増加が望めないため、交流人口の拡大を図りながら地域活性化の施策に取り組んでいます。

川内村では、小学校（児童数117人）、中学校（生徒数86人）で1校ずつあります。子ども達は保育所から同じ顔ぶれで競争意識に欠ける面があるとのことでした。

こうした地域環境の中で、子どもの「学力を伸ばして上げよう」という町長の熱い思いで、小学生の高学年と中学生を対象に、村が学習塾を運営するという学力向上サポート事業が始まりました。川内村の現状を考えると、「かわうち興学塾」の開設は、理解できるような気がします。私たちの町では、多くの児童・生徒が塾に通っています。塾にいくのが良いのか、ど



川内村役場前

うかは、今すぐ結果は出ません。しかし、川内村の実情を知ると「かわうち興学塾」がこれから良い成果が生まれることを願わずにはいられません。

今回の視察研修は、大変充実したものとなりました。この成果を今後の議会活動に生かし、住民のみならず、今以上に、議会活動に関心を持ってもらえるように努力したいと思います。

石野以和夫議員



「村は人なり」に取り組む川内村 村長

# ふるさと散歩



子育て地藏

## 里帰りした子育て地藏

町の北部、推ヶ沢字風田に、古くから共同墓地がありその一角に地藏の一字があった。人々は子育て地藏と呼んで香を焚き、花を供えて朝夕信仰していた。

この辺りは、その名にふさわしく、秋ともなれば黄金色の稲穂が波打つ街中の田圃であった。ところが、戦後開墾の波は、いち早くここに押し寄せ、そのおかりをうけたのが言葉を持たないこの地藏様であった。笹藪の中の古びた地藏堂も容赦なく取り壊され、永い歳月住みなれたこの場所とも離れなければならなくなった。後の墓

地は掘り起され近親縁者によってそれぞれの旦那寺に移り、無縁仏は子育て地藏と一緒に町内のお寺、親明寺の院内に預けられることになった。

それから間もなく、墓地跡には、保育園が建ち、運動場も出来た。田圃は埋め立てられて住宅地となり、人々は地藏のことなどすっかり忘れてしまった。民家が増え、園児で賑やかになったが、なぜか、この地域の子供達や園児に怪我や病気をする子が目立ち始めた。はじめは気にする人もなかったが、そのうち、誰いとうとなく「地藏さんを粗

末にしたから、その祟りではないか」と囁かれるようになり、子を持つ母親の不安は日毎につのるばかりであった。また、地元住民の間では「お地藏さんを元の場所に戻して供養したら」の声が高まり、古老達の口添えなどもあって、町に対し、異例ともいえる地藏様の里帰り陳情となった。そして昭和五十一年春、住民の願いが実を結び、新しいお堂も建てて十年ぶりにこの地に里帰りした。珍らしい地藏堂の落慶式が行われたのは昭和五十一年四月十六日であった。

それから後は、子供達の病気も事故も少なくなり前にもまして親しまれるようになった。地藏は二体あるが、大正から昭和初期のもので、それ以前のは見当らない。

堂の中に、子育て地藏を見守るように銅造阿彌陀如来像が安置されている。金色も剥けて黒くなり、高さ四〇㎝程の小さなものである。胎内には弘化四丁未年（一八四七）七月十三日新

宿に住む牧野惣兵衛という人が、先祖の菩提を弔い修造したと書かれた木簡がある。

また、虫喰いの古い桐の小箱もある。中には、安永九庚子年（一七八〇）三月に作られ、百万遍講に使用されたと思われる数珠や鐘、それに木札などが納められている。

この数珠については、昭和三年五月に、奏良造という人から買い受けた書類や寄附帳がある。これには、こんな話が伝えられていると古老は語る。

いつの頃か、時ははつきりしないが、ある人が金に困りこの数珠を持ち出して質入れしてしまった。後でそれを知った講中は、世話を立てて寄附金を募り、持ち出した人を傷つけないようにと、わざわざ買受けの形で質受けしたという。心温まる話である。

鐘には、下宿、推ヶ沢、新宿百万遍講中とある。おそらく鐘と同じ安永年間のものであろう。

上総一宮郷土史研究会

ふるさとより

ふるさとより

あなたも議会を傍聴しませんか！

次回は12月9日(火)から

の予定です

—お気軽にどうぞ—

「議会だより」を

ホームページに掲載しました。

平成20年8月第128号より

一宮町役場（議会事務局）上で

「議会だより（PDF版）」を、

ご覧になれます。



## 編集後記

議会は、町長公約にもある、道の駅の建設を受け、山形県遊佐町総合交流促進施設、道の駅鳥海「ふらっと」を視察研修しました。

道の駅では、地場産品を中心に直売し、産品の振興を図り直売所の機能の充実とともに、訪れる多くの皆様に「笑顔と真心をモットーに、お値段も半音（b）お下げし」を大切に安全で安心な品物を中心に直売所で提供していました。

敷地面積は二八九二㎡、建物は七七六・〇六㎡であり、町長が代表取締役となり事業運営をされています。

我が町も山積されている課題が多い中ですが、公約ですの町が中心となり道の駅を実行したい。そして、自然の特性を生かした地場産品の振興を図り、地域経済を活性化し、消費者との交流を広げ町の人口増につなげたい。議会でも検討しながら、前向きに進みます。

井桁 太善 一議員